

# 日本政府は 核禁条約の署名批准を

「核なき世界」  
もっと前へ

核兵器廃絶を求める世界的運動が高まるもと、第3回核兵器禁止条約締結国会議が開催（3月3日）、宣言が採択されました。会議には批准署名国の政府やNGOらが参加。日本共産党も代表団を派遣【裏面参考】しました。

2月27日、市議会一般質問で、日本共産党高橋あきら市議が、核兵器廃棄を求める平和都市宣言をしている流山市長としての政治姿勢として、①日本被爆者団体協議会（以下、被団協）のノーベル平和賞受賞について、②第3回核兵器禁止条約締結国会議への日本政府参加について取り上げました。

井崎市長は、「祝意を表す」とし、「被団協が24年にノーベル平和賞を受賞されたことは、長年にわたり、核兵器の非人道性とその廃絶について、証言活動を通じて訴え続けてこられ、核兵器のない世界に向けた国際社会の取り組みに寄与してきたことが評価された」と回答しました。

また、市長も参加した平和首長会議国内加盟都市会議総会（R7年1月17日）で「核兵器廃絶に向けた取り組みの推進について」を採択したこと、平和首長会議国内加盟都市会議として日本政府にオブザーバー参加を求めてきた経

緯に触れ、「政府がオブザーバー参加しないという結論に至ったことは残念」と答弁しました。さらに、「核兵器のない世界を願う気持ちは議員と同じ」とし、「平和施策に取り組み続け、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝え続けたい」「80年目の節目の年として、例年より充実した平和ポスター展を計画」と回答しました。



日本共産党 流山市議会議員  
**おだぎりたかし**



流山民報号外（25.3.31）小田桐090-8567-8858



流山市役所前にある「平和の像」

# 核禁条約第3回締約国会議 国会議員会議で発言（要旨）

日本共産党の吉良よし子参院議員と笠井亮前衆院議員が3月3日に国連本部で開幕した核兵器禁止条約第3回締約国会議関連の国会議員会議で行った発言（要旨）は以下の通りです。

## 吉良よし子参院議員

国会議員になってすぐの10年前、核不拡散条約（NPT）再検討会議にあわせたニューヨークでの国際会議で「核兵器全面禁止」を求めるスピーチをしました。2年後に核兵器禁止条約ができ、今日、第3回締約国会議が開催されたことを心から歓迎します。

日本政府や核保有国が条約に参加しようとしなない最大の障壁は「核抑止」論です。しかし、「核抑止」は失敗するかもしれません。条約も、日本の被爆者の訴えをもとに、「核兵器のあらゆる使用がもたらす破滅的な人道的結果を深く憂慮」（前文）してつくられました。「いかなる場合にも核兵器が再び使用されないことを保証する」には核兵器廃絶しかありません。

条約が「核抑止」を否定したことは、世界の世論と運動への大きな励ましです。私たち国会議員が、非締約国に「核抑止」論を乗り越え、条約に参加するよう呼びかけようではありませんか。

条約6条、7条にもとづく被爆者、核実験被害者支援と国際協力の具体化を促進するため、各国の国会が力を尽くすことも呼びかけます。ビキニ環礁での水爆実験によって日本の約1千隻のマグロ漁船が被ばくし、その3割は私の出身地・高知県の船でした。広島・長崎で「黒い雨」を浴びた人々、ビキニ被災船員も含め、いまだに何ら救済・補償されないまま日本と世界各地で核被害は続いています。市民社会の参加、非締約国の協力が重要です。

## 笠井亮前衆院議員

私はこれまで、国際舞台で何度も被爆者の方々と活動してきました。2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議では、長崎の被爆者・谷口稜暉（すみてる）さんが、原爆で赤く焼けただれた背中の写真を掲げて「私を最後の被爆者に」と訴え、各国代表に感銘を与えました。この会議をきっかけに、核軍縮交渉に「人道的アプローチ」がもたらされ、核兵器禁止条約の成立につながりました。

核兵器による被害は、広島・長崎への原爆投下の瞬間から80年後の今日まで続いています。私と同じ被爆2世には亡くなったり、奇形児の子どもを失った友人がいます。

核兵器のいかなる使用も、人道上および安全保障上の壊滅的な結果をもたらします。核兵器の使用を前提とした「核抑止」政策は、全人類の安全を危険にさらすものです。軍拡競争をつくりだし、仮に抑止が破綻した場合、全世界にとって取り返しのつかない大災厄をもたらします。いまこそ「核抑止」論の呪縛を吹き払うため力をつくしましょう。

日本政府は「核兵器の非人道性」を言いながら条約参加を拒み、米国の「核の傘」に依存し、大軍拡と核抑止力の強化に踏み出しています。それは東アジアの対立と緊張をさらに強め、地域の安全を脅かすものです。東アジアでは、包摂と対話で平和を構築することを提起しています。この地域でも戦争の心配をなくせば、「核抑止」の根拠もなくなります。